

# V戦士

バレー便り2012年 秋季38号

## 中学生の皆様へ

ロンドンオリンピック全日本女子バレーボールチーム『火の鳥NIPPON』アシスタントコーチ

長江 晃生

私が南部中学校に入学したのは1995年、今から17年前です。

当時の南部中学校は、現在と同様バレーボール部がとても強く、県内外で数々の素晴らしい成績を残していました。また、竹内敏先生(当時のバレーボール部の顧問)指導の下、日常生活に於いても規律が守られており全校生徒が憧れる部活動でした。バレーボール未経験者だった私も、そんなバレーボール部に憧れ入部をすることに決めました。

南部中学校を卒業した後は、城東高校、大阪体育大学、同大学院へと進学し、V・プレミアリーグのチームに所属し、常にバレーボール中心の生活を送ってきました。進学や移籍によって環境が変わり、競技レベルが上がる度に壁にぶつかっては、それを乗り越えてきました。

2010年に男子日本代表に選ばれた時には、世界とのレベルの差というものを初めて痛感しました。その時に考えたのは、試合に出るためには「今」何が必要なのか、チームが勝つためには「今」自分が何をすべきなのかということでした。世界との差を考える前に、改めて自分を見つめ直す事によってチームの勝利に貢献することができ、16年ぶりにアジア大会で金メダル獲得という最高の結果を出すことができました。

また、今年の8月に行われたロンドンオリンピックに、全日本女子バレーボールチームのアシスタントコーチとして、帯同できたことは、生涯、心に残る経験になりました。28年ぶりに銅メダル獲得という歴史的な瞬間に立ち会い、チームが作り上がる過程を目の当たりにし、身長で劣る日本が世界に勝つためには「チーム力」が如何に重要かということをはじめ、各選手の練習量や試合に対しての心構え等、まだまだ自分に足りなかった部分を学ばせてもらうこともできました。

これまで、年を重ね、色々経験も重ねてきましたが、どんなに苦しくとも前向きに頑張るという自分の核心部分は、中学校を卒業した当時とあまり変わっていないと思います。多感な時期である中学時代の過ごし方一つで、その人の核心部分が大きく成長するか否かが決まるといっても過言ではないと思います。

在校生の皆さんには恵まれた環境で充実した日々を大切に過ごし、一生付き合える友人や良き師に出会ってほしいと思います。自分の可能性に壁を作らず、どんどん新しいことに挑戦してください。何か



一つの物事に夢中になり、壁にぶつかりながらも目標を達成する喜びを味わってください。それが大きな自信となり、新たな自分に出会えるはずです。

【Wikipediaによる紹介】城東高校を卒業後、大阪体育大学へ進学。大学卒業後の2005年に堺ブレイザーズへ入団。大阪体育大学の大学院に通いながらプレーしていた。2007年に大分三好ヴァイセアドラーへ移籍。2009年には大分三好のコーチも兼任し、2009-2010年Vプレミアリーグで主力選手として活躍した。2010年の全日本代表登録メンバーに選出された。2012年5月の黒鷲旗大会をもって勇退。(但し本人は現役続行を望んでおり、引退ではない。)

## 「第15回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会」に参加して



B K

僕は、初めての全国大会という大きな大会でとてもいい体験ができたと思います。初めは大きな広い場所に行ってしまうのが楽しみでしたが、行ってみると一気に緊張してきて足が震えてきました。しかし、そんな場所でバレーをすることはもうないと思うので思いっきりやろうと思いました。試合になると「もうやるしかない」という気持ちでやりました。一試合目は緊張して足が震えていました。しかし、試合をやっているうちに緊張はほぐれて楽しんでバレーができるようになりました。自分のチームが連続得点をするとうみんなが一気に盛り上がりとてもいい感じになりました。でも逆に連続失点をしてしまうと声が少なくなって悪くなってきました。声はとても大切だと改めて思いました。この全国大会でヤングに選ばれたチームと試合ができてとてもよかったです。そして、自分の未熟さを改めてしてもっと練習をしてもっとうまくなってバレーを続けていきたいと思っています。

K K

僕はヤングに入ったとき、とてもびっくりしました。なぜなら他の学校から参加している人たちは僕よりはるかに運動神経がよく、力もあり、技術もあったからです。自分の無力さを感じ、このチームの一員としてやっていけるのか、不安でいっぱいになりました。しかし、毎週練習を重ねる内に、それはだんだんと無くなってきました。僕はリベロの一人として練習することになりました。リベロは初めてだったので、分からないところもあり、最初は失敗ばかりでした。結局、リベロとしては大会に出ず、ピンチサーバーとして出場しましたが、リベロはいいポジションでした。普段とは違うポジションの練習ができたことは、とてもいい経験になりました。

大会二日目の日、ピンチサーバーと監督に声をかけられたときは、とても緊張しました。僕は強いサーブは打てませんが、このときはなかなか良いサーブが入ったので良かったです。一生懸命に声も出し

てチームを応援しました。自分のやれることをできたと思います。

スタッフの方々には、色んなことを教えていただいて、ありがとうございました。これからは、ヤングで学んだこと充分活かして、今後の練習を精一杯頑張りたいと思います。

## OT

僕は正直ヤングに入れるとは、思っていませんでした。バレーボールは小学生からやっていたけど、チームの中では一番下手で、足を引っ張っているだけでした。

中学校に入ってから学校だけではなく、クラブチームなので、練習をして少しは上手くなれたかなと思っていた時にトライアウトがありました。ヤングに入るチャンスです。あの時はとても緊張していました。次にあった大会ではとてもスパイクやブロックが良かったので、ヤングに入ることが出来たのかなと思いました。

初めてのヤングの練習はとてもきつくてこんなきつい練習についていけるのかなと思いながらやっていました。JOC との試合ではサーブがよく決まり少し自信ができました。阿南工業との練習試合では、サーブレシーブとポジショニングが大切だと改めて実感しました。全国大会に向けての最終調整は岩倉中学校での JOC との合同練習でした。ほぼいつも通りの練習をして JOC と練習試合をしました。試合の前に言われた「アタックが止められた時のカバーのチェック」をして声もよく出ていたので良かったと思いました。

全国大会では、1日目に「マケンザ!!」「富士見クラブ」と当たってしまいました。両方強いチームで負けてしまいました。2日目は、気持ちを切り替えて、「Team i」「トップス広島」にみんなの力で勝ちました。決勝の「高岡南星クラブ」には1セット目惜しいところで負けてしまい、2セット目も取り返すことが出来なくて、準優勝に終わりました。

ヤングで学んだことは声を出して、チーム全体でプレーすることが大切だと学びました。指導して下さった先生方、応援して下さいました保護者の方々に感謝しこれからもバレーを頑張ります！



## TS 「ヤングバレーを終えて」

僕は、このヤングバレーを終えて、まず、お世話になった、先生方、支えてくれた、保護者の方々に



感謝しています。選抜チームなので、初対面の子との付き合い方、キャプテンとしてチーム全体を見ることなど、とても、いろいろ勉強になったと思います。バレーの技量も増えたと思います。これだけ、僕が成長できたのは、やっぱり先生方や、保護者の方々のおかげだと思います。

だから、これからは、この感謝の気持ちを胸に、大好きなバレーボールをずっと続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

NK

僕は、TokushimaGoToWinners のライトアッタッカーで試合に出られたことを心から嬉しく思っています。最初、チームのみんなとあったとき、「本当に仲良くできるのか」「このチームで一致団結できるのか」と、ちょっと不安が心の中にありました。けど、実際練習試合などを重ねていくと徐々に仲間意識が高まってきました。練習試合などで重ねてきた経験が本番、全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会で3部準優勝の成績をおさめられました。

TokushimaGoToWinners の監督、コーチ、マネージャー、そして最高の仲間に出会えたことに心から感謝しています。

TN

僕は、このアンダー14に参加をしてすごくいい経験ができたと思います。そして、違う学校の生徒との子と練習や練習試合ができていい交流ができて良かったです。一部では、仲のいい子もいたけど話をしたこともない子もいたので仲良くなれるか心配だったけど最後には仲良くなれたのですごく楽しくできました。最初にチームが集まった時は連携がうまく行かずまだ弱い状態でしたがだんだんチームワークもできてきて試合も一番いい状態でできました。結果、初日は二回負けてしまいました。でも2日目に二回勝って準優勝ができて嬉しかったです。僕はあまり試合には出られなかったけど、ほかのみんなが頑張ってくれたのでこの結果が出たのだと思います。



最後にこの試合のために教えてくれた監督やコーチに感謝をしたいと思います。そしていろいろなことをしてくれた保護者にも感謝をしたいと思います。

YK

ぼくは、今年の全国ヤングバレーボールクラブ優勝大会にU-14の徳島県代表選手の一人として参加しました。選出された時のぼくは、バレーの経験年数も浅く、技量もなく不安とプレッシャーでいっぱいでしたが、全国大会に望む各学校の優秀な人達と一緒にバレーが出来るという嬉しさで、前向きに頑張ってみようと思いました。夏休みに入り、練習が始まりました。学校の部活中には、習得出来なかったことも先生がたくさん教えてくださり、また他校の代表選手からも高い技術を見せてもらって大変勉強になりました。本番では、2日目の試合で出場させて頂きましたが、今回の練習の成果を発揮することが

でき良かったです。

先生方、他校の皆さん 本当に有り難うございました。

## OT

この夏は、ヤングバレーボール全国大会出場という大きな舞台にジュニア時代に対戦チームだった子たちとも、今度は一緒にチームで楽しくバレーボールができました。

また、初めて会う同級生のメンバー達とも仲良くプレーでき、輪が広がりました。これも、監督、コーチ、マネージャー、部長先生、保護者のおかげだと思っています。ぼくの中学校には、男子バレー部がありませんでしたが、キャプテンのお父さんや地域の方の力もあって創部してもらえることができました。恵まれた環境でバレーボールができることに感謝しています。これからは、バレーボールを好きで頑張っていきたいと思います。そしてまた、このチームこの13人でプレーしたいです。

## YD

僕は、中学校からバレーボールを始めました。ヤングの大会に参加して、他校の人とバレーボールをするという機会は、あまりないのですごくいい思い出になりました。

ヤングの大会に参加して、一番心に残ったことは全国の強いバレーボールチームと試合が出来たことです。どこのチームも身長が高くて強かったです。そんな、強いチームと試合が出来たことがすごく心に残りました。ヤングの大会に参加して、徳島県のレベルの高い人達と一緒にチームで試合をすることが出来てすごく良かったです。これからは、相手チームで敵になってしまうけど、その時は正々堂々戦います。

この大会に参加して、改めてバレーボールは、すごく楽しいスポーツだと思いました。これからは、バレーボールを頑張りたいです。

## IS

僕は、この度ヤングの大会に出場させていただきました。1年のときから夢に見てきた舞台だったので、とても楽しみにしていました。最初は知らない仲間や高いネットに戸惑っていましたが、優しいチームメイトと練習を重ねていくうちに、その戸惑いはなくなっていました。そしてついに大会当日を迎えました。今までお世話になった監督、コーチ、マネージャーに恩返しをしようとチーム一丸となって戦いました。結果は3部トーナメントで準優勝という、決して満足のできる成績ではありませんでした。しかし、一致団結して強い相手と戦ったということは、僕にとって自信になりました。それと同時に、もっと上を目指したいとも思いました。これからは今回学んだ経験を生かして、バレーができることに感謝し練習に励みたいと思います。

この度は本当にありがとうございました。

## IK ヤングバレーに参加して

この二か月間ヤングバレーの一員として参加して



とてもいい経験になりました。自分の学校では学べないようなこともたくさん教わりました。はじめ選ばれたときは知らない顔ばかりで不安なところもありました。けど今、ヤングバレーが終わってからチームメイトと仲良くなれたと思うし、そういう環境だからできたこともあったと思います。監督も自分の学校の顧問とは違う考え方を持っていて、試合でこういうやり方もあるのだと、とてもいい勉強になりました。

最後にヤングバレーで教わったことを生かしてこれからの自分の学校でのバレーをがんばりたいです。ヤングでチームメイトだったメンバーもこれからの試合では、ライバル同士なのでほかのみんなにも負けないように力をつけていきたいです。ヤングの監督からは本当にいろいろ学びました。このチームでプレーした二か月間のことを無駄にせずバレーを続けたいです。

## F N

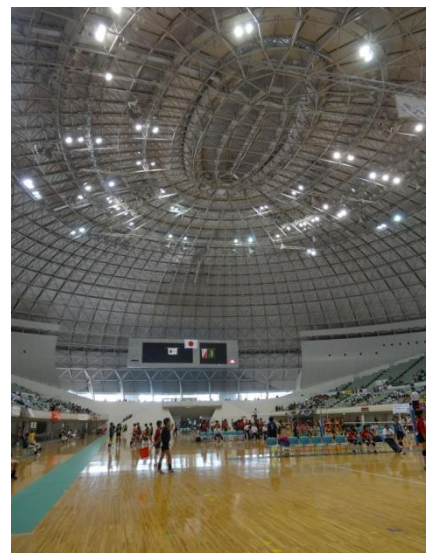
僕は、バレーボールを上手になりたいと思ってトライアウトに参加しました。最初のトライアウトはすごく緊張していました。なぜかと言うと周りは凄く上手いバレーボールプレイヤーばかりだったからです。僕は、「こんなにも上手なプレイヤー達とバレーボールが出来たらすごく楽しいだろうな！」と強く思いました。光栄にもアンダー14のメンバーに選んでもらって、凄く嬉しかったです。ヤングバレーボールの大会では、1日目はピンチサーバーとして、試合に出してもらえました。けど緊張してなかなか良いプレーができませんでした。2日目も、ピンチサーバーで出してもらって、ほどよい緊張の中で僕的には良いプレーが出来たと思っています。同時に、もっと良いプレーが出来ていたかもと悔いも残っています。



最後になりましたが、最高の仲間とバレーボールが出来たことに感謝をし、支えてくれた人達が沢山いることを忘れず、これからも、学校生活と部活動に日々努力をしていきたいと思っています。

## N S

僕は初めて大阪で試合をしました。僕は四国以外の県のチームと試合をしたことがないからいい経験になりました。他の県のチームは凄く強かったです。大阪のなみはやドームで開会式がありましたが凄く広い会場の上、沢山のチームがならんでいることに驚きました。僕が試合した所は大阪府立体育館でした。僕は全国大会に出られて凄く嬉しかったです。試合が始まって勝負すると相手は凄く強かったです。けど、僕なりにはけっこういいプレーが出来たと思います。練習試合で高校生と試合しているときは全く歯が立たなかったけどこの大会ではラリーが続いて良かったです。仲間といいプレーをして点が取れた時は凄く嬉しかったです。仲間と沢山の試合が出来ていい経験や思い出や結果が出来て良かったです。これからもこの経験を生かしていいプレーが出来





るように頑張りたいです。またこのヤングで新しく出来た仲間を大切にしていきたいです。

## YM

ヤングバレーに選ばれ、最初はみんなとうまくやっていけるか不安でしたが、みんな優しく親しみやすく、安心して練習ができました。練習を重ねるごとにチームの輪が深まり、練習試合でも勝てるようになり、今まで以上にバレーが好きになりました。久しぶりに一生懸命バレーをする人に囲まれてプレーすることができ嬉しかったです。さらに、このチームで全国という舞台を経験でき、とても光栄に思います。もう、このチームでバレーをすることは無いと思いますが、この経験を生かし、今後のバレー生活に役立てていきたいと思っています。

一緒に戦ってきた仲間、先生方、家族、この大会にたずさわったみなさまに感謝しています。

これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいです。

## IN ヤングバレーボールに参加して

私はヤングバレーボールでいろいろなことを経験することができました。バレー面でも技術の向上、高校生との練習試合、他校の中学生との交流、全国大会のバレーに出場できたことです。どれも、とてもよい経験になりました。

最初、ネットの高さが224cmだと知って驚き、私のジャンプ力ではネットから手はでないと思っていました。ですが、先生方のご指導によりブロックで相手のアタックを止めることができるようになりました。ブロックをする時の足の動きまで教えてくださり、自信がもてるようになりました。とても感謝しています。

最後、決勝で愛媛に負けてしまい悔しい思いをしましたが、このヤングバレーに参加できたことを一生忘れません。とても楽しかったです。もっと、ヤングバレーボールメンバーでバレーをしたいと思いました。次にメンバーで会うのはおそらく新人戦だと思います。ヤングバレーで学んだことを生かして全力で頑張ります。

## AM ヤングバレーボール大会に参加して

私は、ヤングバレーボールチームに参加して貴重な体験をたくさんすることができました。それまで関わりの無い他校の人達と、同じチームとして練習をしたり、全国大会に参加したり・・・

大阪で泊まったホテルでも、皆で楽しく過ごすことができました。はじめは、上手くやって行けるか、仲良くなれるか不安もあったけど思っていた以上に楽しくて良い思い出になりました。

全国大会では、自分より背の高い人、アタックの上手な人、レシーブの上手な人、その他にも凄いプレイヤーをたくさ



ん見ることができ本当に良い勉強になりました。この全国大会で見たこと、学んだことを、これから、自分のチームで生かしていけたらいいなと思います。

そして、今回の大会に挑むのに指導して下さった先生、応援して下さいった中学校の顧問の先生、チームメイト、家族に感謝して、これからも頑張っていきたいです。

#### SS ヤングバレーU14に参加して

私は、このヤングバレーに選抜されていろいろな事を学び、いろんな気持ちを持つことができました。まず、メンバーに選ばれてとてもうれしかったこと。そして、セッターとしてプレーができたことが何よりもうれしかったです。県内のチームから集まった仲間と、二ヶ月間共に笑い、最後は悔し涙を流せたことが何ものにもかえがたいものとなりました。『仲間の大切さ』『気持ちを強くもつこと』を再確認しました。もちろん、大きな体育館でプレーできた幸せ、試合に勝って喜び負けて悔しい思いも経験しました。応援してくれた保護者の方への感謝の気持ちもあります。

自分の全部を発揮できました。私にとって、最高のバレー生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

#### AN

私は、ヤングバレーに選んでもらえて嬉しかったです。理由は、今まで話したことがなかった子などと一緒にバレーが出来たからです。さらに、私の人生で出ることはなかっただろう全国大会にも、少しの時間でも出ることも出来て嬉しかったです。

ヤングバレーに選ばれてから大会が終わるまで、あっという間だったように感じます。トライアウトの時には、知らない人だらけで不安もありましたが、選ばれたメンバーで集まったときに、見覚えのある子が何人もいました。先生方は気付いてなかったようでしたが、みんなが打ち解けるのにさほど時間はかかりませんでした。そして、何回も練習するうちにみんなのことも分かってきて、先生たちとも仲良くなれてとてもいい思い出ができました。また、こんな未熟な私を選んでもらった先生方や、試合でミスばかりしていた私を慰めてくれたり、フォローをしてくれたチームメイトに出会えたこと、一緒にバレーが出来たことも全てが楽しかったです。





## MH 「ヤングバレーで学んだこと」

私はヤングバレーに参加して思ったこと、体験したことは、私は、このヤングバレーで初めてリベロをやりました、リベロは自分の中学校の部活のバレーでもやったことがないポジションだったのでルールもイマイチ分からないことが多かったので、ちょっと怖かったし緊張しました。でも、監督やコーチのおかげでルールもよく分かったので大会当日はルールのことに関してあまり緊張はしませんでした。でも、私はレシーブがあんまり綺麗に上がらないので、練習中とかでもみんなに迷惑をかけてばかりでした。それでも、チームのみんなは私のことを責めたりはしませんでした。私は、短い間でしたがこのチームメイトでバレーが出来て本当に良かったです。それに、今までやったことのないリベロというポジションで、レシーブの大切さや仲間を信じてプレーする、といったことなど沢山のことを学ぶことが出来たので良かったです。これからも部活・ヤングバレーで学んだことを生かそうと思いました。

## NK 「ありがとう」と感謝の気持ち

7月22日の選考会から2ヶ月、私達12人は暑くて苦しい練習や練習試合にも耐え、U-14 トクシマドッジレイカーズは、2位グループC組準優勝という成績を残すことができました。決勝戦は、愛媛県のチームと戦い、フルセット2点差で惜しくも負けてしまい、あの時私がミスしなければ…私が1点決めていれば…と悔しい気持ちでいっぱいでした。

私は、ヤングバレーでいろんなことを学びました。最初は、名前も性格も分からない12人が集まり、練習を重ねていくたびにだんだんと名前呼び合ったり笑顔で話したり、練習中は共にライバルでも励まし合ったりフォローし合いながら、頑張ってきました。私は必死にプレーしていく中で、「レシーブ拾ってくれてありがとう」「トスでつないでくれてありがとう」「スパイク決めてくれてありがとう」こんな気持ちになりました。この3つのプレーがあるからこそ、1点が取れる、その1点の重みと大切さをつくづく感じました。それと、私達がヤングバレーでのびのびとプレーできたのは、一生懸命教えてくださる先生方のおかげ、遠い所までも送迎してくれた、家族のおかげだと心から感謝しています。ヤングバレーで学んだチームワーク(絆)ありがとうという感謝の気持ちを忘れることなく、これからも大好きなバレーを続けていきたいと思います。

## HM ヤングバレーで学んだこと

私はヤングバレーでチームメイトからたくさんのことを学びました。  
キャプテンでエースとしてどんな状況でもチームを盛り上げてくれたM。  
どんなに厳しく言われても絶対にめげない副キャプテンM。  
夢に向かって、いつも前向きに楽しむM。  
天然の明るさで沈んだ空気を一瞬でなごやかにしてくれるN。  
私と同じサウスポーでたくさん刺激を受けたM。  
切り替えが速くいつも笑顔のS。  
よくおもしろいことを言って笑わせてくれる楽しいK。  
人に左右されず自分を崩さないK。  
明るく自分の意志が言えるA。  
どんな相談も聞いてくれる思いやりのあるY。

優しくていつも微笑んでくれるH。

1 2 人の仲間、矢野監督、高橋部長、佳世コーチ。応援してくれた保護者の方と共に結果を出すことの重み、本当の悔し涙、うれし涙を味わいました。

結果はあと一步のところまで優勝を逃しましたが、こんな良い経験をさせてくれたみんなに感謝します。ありがとうございました。

これから私は、みんなが教えてくれたこと、ヤングバレーで経験したことを活かしてもっともっとがんばります。



## MA

私は、このヤングバレーボールに参加出来て、すごく良かったです。初めて、ヤングのトライアウトしたときは、知らない子がたくさんいたし、少し緊張していました。

初めは、「どんなことするのだろうか」といろいろと考えていました。二回目のトライアウトでは、数人一回目に来ていなかった子がいました。二回目の方が、なぜが一回目より、緊張していました。そして、トライアウトが終わったとき、「あー終わったのじゃあ。」と思いました。結果を聞いたとき、すごく嬉しかったです。十二人のメンバーが選ばれての、初めての練習は、とてもワクワクしました。名前覚えるのに、苦勞し、話しをするのも、少し緊張しました。何回か練習していくうちに、メンバーとも仲良くなり、とうとう大会の日がやってきました。試合に、出られたときは、嬉しかったし、ベンチのときは、悔しい気持ちもありましたでも、このヤングで、バレーが出来て良かったです。短い間でしたが、この十二人のメンバーでバレーが出来て、すごく楽しかったし、良い経験が出来ました。

## TM ヤングバレーを終えて

ヤングバレーの大会が終わりました。最初の日から最後の日までとにかく楽しかったです。学校の部活では経験できないようなことをたくさん経験することができました。

ずっと笑って、ずっとしゃべって、夢の世界のようでした。試合はとても緊張したけどあの大きな体育館でスパイクを決めた時は、とても気持ちがよかったです。自分の力が半分くらいしか出せなかったけど、満足のいくプレーができたこともありました。ほとんどの試合、フルセットで厳しい戦いが多かったけど、1番長い間みんなとプレーができて良かったです。最後に負けた時は、悔しさよりもこのメンバーでもうコートに立てないことの悲しさの方が大きかったです。涙が止まりませんでした。

今回の大会で、全国にはものすごい人がたくさんいることを、改めて感じました。そんな先輩や同級生ともう一度あの舞台上で、試合がしたいと強く思いました。その舞台に立てるように、立って満足のいくプレーができるように、頑張ります!

そして、今回の経験をこれからの部活や生活で生かしていきたいです。

## GY 『ヤングバレーを終えて』

二ヶ月前、学校を超えて、バレーボールが大好きな皆と共に、ヤングバレーボールの大会に向けて練習をしてきました。初めは、慣れない環境の中で不安もありましたが、練習を重ねていくにつれ一人一人が力を一つに頑張ってきました。大会では、二部で準優勝を果たすことができ、大会を通して、素晴らしい仲間と一緒にプレーができたこと、本当に良かったです。

又、ご指導して下さった監督を初めコーチ、部長、いつも私たちがプレーに集中できたのも、支えて下さった保護者の皆さんや、協力をして下さった多くの人の支えに、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

この経験を生かしながら自分のチームでも目標を持ち、一生懸命練習に取り組んでいきたいと思いません。

## MH 2012Tokushima Dodge-Lakers メンバーに参加して

今年の夏、ヤングバレーに参加することになった私は喜びと不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、全国でバレーができるこの時に自分を一生懸命出し切ることに専念しました。試合当日、緊張でカチコチになった体をほぐしてくれたのは自分たちを信じてコートにいれてくれている指導者さんの声と一緒に練習してきたメンバーの笑顔でした。結果、準優勝でしたが私は本当にバレーが好きでこのメンバーが大好きなのだと思います。帰りの道中、みんなとまだまだ一緒にバレーがしたくて寂しい思いがしましたが、バレーを続けている以上またどこかで一緒にバレーをする機会がある！と信じて私のヤングバレーは終わりました。

高橋利明先生、高橋佳世先生、そしてたくさんのガッツポーズをくれた矢野耗資先生短い間でしたが本当にありがとうございました。

## 保護者A

ヤングバレー優勝大会が終わって、数日が経過しました。

娘がセレクション参加を決めてから本番まで、長いようで短い日々でした。

練習会や練習試合を重ねるうちに自分の至らなさを痛感し、本人にとっては挫折感を味わったかも知れません。

ですが、仲間たちに励まされ支えられて、何とか走り抜けました。

そんなすべての出来ことが、娘にとって栄養になっていったのではないかと思います。

尊敬できる先生方や仲間たちと、同じ目標に向かって頑張ることが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！







「TokushimaGoToWinners」「TokushimaDodge-Lakers」を立ち上げて6年目、全国ヤングバレー男女優勝大会に出場するようになって5年目になりました。また、高校（U19）も参加するようになり、特に昨年（第14回）、【U19男子】のカテゴリーで徳島ヤングクラブは優勝することができました。さらには、そのチームが主体となって本年度、国体【少年の部・男子】に四国予選を勝ち抜き、5年ぶりに出場することができました。

当初、「ヤングバレーって、何？」という方が多く認知度は低いものでした。しかし、現在では定着しヤングバレーについて理解くださるようになった先生や生徒の皆さん、保護者が増えました。徳島全中（平成18年）の終了後、「もっともっと徳島県のチームが『全中』に出場するために！」ということでやり始めました。この想いを徳島県全ての先生方が理解していただけるなら、もっと、もっと、もっとヤングへの参加・協力をして欲しいと思います。このままでは徳島県中学バレー界は向上していきません。ただ、もっともっといい方法があるのかもしれない。そんな方法をともに考えながら、切磋琢磨しながら県中新人大会において健闘を祈ります。



写真は、U19女子「徳島ヤングバレーボールクラブ」が「TokushimaDodge-Lakers」を応援している様子

（なみはやドーム）



応援する保護者

（ボディメーカーコロシウム）



勝利に喜ぶ  
TokushimaGoToWinners  
（ボディメーカーコロシウム）

左 開会式（なみはやドーム）